

一般社団法人日本循環器協会 2022 年度 活動報告書

2023 年 6 月 2 日

活動年表 (#詳細は別途紹介)

2022 年

- 4 月 7 日 「産官学連携臨床カンファレンス」 開催
- 6 月 3 日 2022 年度 第 1 回理事会
- 6 月 24 日 2022 年度 社員総会
- 6 月 26 日 「全国支部長会議」開催 #1
- 8 月 10 日 「健康ハートウィーク 2022」開催 #2
- 8 月 31 日 公募事業「知っておきたい心不全の治療薬」サイトリリース #3
- 9 月 17 日 「腫瘍循環器クイズ王決定戦」 @腫瘍循環器学会学術集会 開催
- 9 月 27 日 機関誌 COCORO vol.2 発行 #4
- 10 月 4 日 産官学連携定例会合 (2022 年度 第 1 回) 開催 #5
- 10 月 11 日 2022 年度 第 2 回理事会
- 10 月 21 日 「患者相談支援センター」サイトリリース #6
- 12 月 26 日 「心臓の病気の知恵袋」サイトリリース #7
- 12 月 26 日 心不全療養指導士応援サイト「突撃!となりの心不全療養指導士」リリース

2023 年

- 1 月 18 日 第一回産産協議会 #8
- 2 月 3 日 2022 年度 第 3 回理事会
- 2 月 4 日 循環器に携わる医療者向け「ガイドライン試し読み」サイトリリース #7
- 2 月 13 日 産官学連携定例会合 (2022 年度 第 2 回) 開催 #5
- 2 月 27 日 初学者向けセミナー動画「心不全療養指導 はじめの一步」サイトリリース #7
- 3 月 10 日 機関誌 COCORO vol.3 発行 #4
- 3 月 10 日 JCS2023 における展示ブースの出展 #9
- 3 月 11 日 「#学会でフットサル」開催 #9
- 4 月 20 日 「循環器医療機関見える化マップ」公開

日本循環器協会の関係者数（2023年3月31日現在）

- 理事：28名（医師21名、メディカルスタッフ1名、企業4名、患者会2名）
- 監事：2名
- 都道府県支部長：46名
- 評議員：61名（医師50名、メディカルスタッフ6名、企業4名、患者会1名）
- 正会員：358名（医師160名、メディカルスタッフ147名、一般41名、患者会10名）
- 賛助会員（企業会員）：創設賛助会員17社、賛助会員6社
- 連携会員（患者団体会員）：8団体

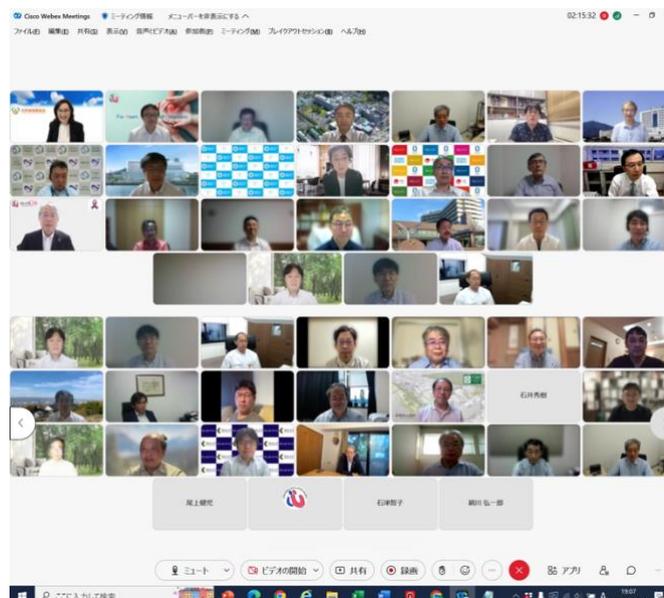
全国支部長会議（2022年6月26日）#1

2022年4月の日本循環器協会都道府県支部設立に引き続き、6月26日に全国の支部長が参加する形で「全国支部長会議」がWeb開催されました。

これは、2021年に各都道府県レベルで始まった循環器病対策推進計画の策定が進むなかで、各自治体の医療政策について「情報交換をする場の提供」を一義として開催されたものです。当日は44都道府県から支部長が参加し、参加者一人一人からコメントや質問をいただきました。

当日のアジェンダは下記の通り。

1. 開会の挨拶：小室一成代表理事
日本循環器協会 設立の経緯、めざす役割、事業内容について説明。
2. 日本循環器学会 代表理事の挨拶：平田健一
日本循環器学会と日本循環器協会が連携することの重要性を述べた。
3. 基本法・5カ年計画検討委員長の挨拶：前村浩二
循環器病対策推進協議会の活動において協会が果たす役割について説明。
4. 都道府県支部の活動内容について
支部の具体的な役割（協会幹事 原田睦生）や支部間の情報共有についての説明（協会幹事 石田万里）。
5. 産官学連携委員会からの提案：坂田泰史
協会理事、都道府県支部長、幹事社による定期会合について説明。
6. 都道府県支部長 自己紹介・ご意見
全支部長からの挨拶や抱負などのコメントをいただいた。



健康ハートウィーク 2022 (2022年8月10日) #2

【概要】

主催：健康ハートウィーク実行委員会（日本心臓財団、日本循環器協会、日本循環器学会）

期間：2022年7月28日（木）から8月11日（木・祝）

【企画1】 第3回健康ハート・シンポジウム

テーマ：COVID-19 パンデミックから学ぶ心不全対策

開催日時：2022年8月10日（水）14時～16時半

開催場所：一ツ橋ホール（日本教育会館）

プログラム：

講演1 「新型コロナウイルス時代のワクチン予防」 演者：矢野晴美（国際医療福祉大学）

講演2 「COVID-19 と心不全」 演者：野出孝一（佐賀大学）

講演3 「心不全のパンデミック対策」 演者：筒井裕之（九州大学）

講演4 「心不全のリハビリテーション」 演者：高橋哲也（順天堂大学）



【企画2】 小学生向け心臓教室「すごいぜ心臓！」（オンライン）

開催日時：2022年8月11日（木・祝）午前10時～11時半

プログラム（時間割）：

1時限目：音楽「心音を聴いてみよう 心音で何が分かる？」

講師：水野篤（聖路加国際病院）、金井香菜（広島大学病院）

2時限目：図工「聴診器を作ろう 予算1500円で作る手作り聴診器」

講師：黄世捷（聖マリアンナ医大）

3時限目：体育「心臓を助けよう はじめての胸骨圧迫」

講師：菊地 研（獨協医大病院）、金井香菜（広島大学病院）

4時限目：総合「心臓なんでも質問コーナー」

講師：岸拓弥（国際医療福祉大学）

参加人数：事前登録320名、当日参加者228名



【企画3】 中高生向け企画「集まれ！未来のドクター」（オンライン）

概要：医学部を目指す高校生4名とともに「医師」と「患者」のリアルワールドを体験する

開催日時：2022年8月11日（木・祝）午後3時～5時

プログラム：

・第一部「医師になるとは」：

概要：トップランナー循環器 Dr.へのインタビュー。



総合司会：平田久美子（大阪教育大学）、木田圭亮（聖マリアンナ医科大学）

動画出演：田端 実（順天堂大学心臓血管外科）、佐藤希美（筑波大学循環器内科）

・第二部「心臓移植とは」:

概要：心臓移植患者さんと語る「いのちの贈りもの」の意味について。

コメンテーター：木田圭亮（聖マリアンナ医科大学）、佐橋勇紀（岐阜ハートセンター）

ゲスト：清水理恵（心移植経験者）

【企画 4】 動画シリーズ「患者さんの声」

概要：患者さんの声を通して循環器疾患の予防や課題について学ぶオンデマンド動画企画

① 心筋梗塞を防ぐために明日からできること：

庵地雄太（国循 公認心理師）

② 知って欲しい先天性心疾患のいま：

森崎真由美（東京大学 看護師）

③ 人工心臓とともに在宅で過ごす：

弓野 大（医療法人社団ゆみの 医師）



【コラボ企画 1】「健康ハートウィーク 2022 × 横浜 FC」

概要：サウロ・ミネイロ選手と心臓病予防について学ぶ

開催日時：2022 年 7 月 30 日(土)グルージャ盛岡戦

開催場所：ニッパツ三ツ沢球技場

企画内容：ブースを展示(ミネイロ選手の実物大パネル、AED 展示、心臓病予防パンフレットの配布、記念グッズ販売、ハーフタイム練り歩き)、特別対談動画の放映



【コラボ企画 2】「あなたの街の調剤薬局とのコラボ企画！」

概要：健康ハートウィーク 2022 特別企画として下記4社の各店舗で啓発活動を展開。

【参加薬局】

①クオール株式会社：神奈川県内 36 店舗全店でポスター提示。認定薬局 12 店舗では血圧測定や食事相談会を実施。

②日本調剤株式会社：神奈川県内「健康チェックステーション」併設 9 店舗においてポスターを掲示、血圧測定、血圧手帳の配布、薬剤師・管理栄養士による健康相談を実施。

④ 株式会社ココカラファイン：神奈川県内 5 店舗にてポスター掲示。

⑤ サン薬局、株式会社関西メディコ（独自企画）：独自に制作した「心不全啓発リーフレット」を 69 店舗全店で配布。医療関係者向けに研修会も開催。



【コラボ企画 3】 [「現役医師たちに SUSURU の毎日ラーメン生活を見せてみた」](#)

概要: 毎日ラーメンをすすめる動画を公開しフォロワー数が100万人を超える人気 YouTuber SUSURU TV とのコラボ企画。

企画内容: SUSURU さんが訪問した3軒のラーメン食レポ動画を視聴しながら、医療従事者視点でわいわいコメントする企画。ハイカロリー・ハイソルト食の代名詞とも言われる「ラーメン二郎」の野菜マシの功罪を議論しながら、循環器病ハイリスク群であるラーメン愛好家を対象に啓発を行った(40万再生)。



公募事業「[知っておきたい心不全の治療薬](#)」(2022年8月31日) #3

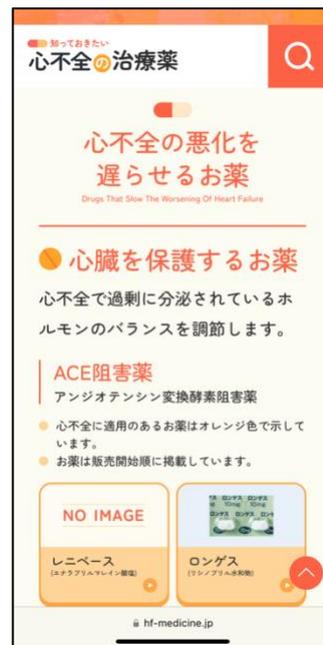
株式会社メディカルレビュー社とともに、心不全患者さん・ご家族、一般人、ケアプロバイダーを対象とした心不全治療薬の情報提供のためのウェブサイト『知っておきたい心不全の治療薬』を開設しました。

これまでは、心不全に対する一般市民の認知度は低く、また、心不全患者やそのご家族、あるいは介護士などのケアプロバイダーが治療内容を知るための信頼できる治療薬情報源も不足していました。本ウェブサイトを通じて、患者さん自身あるいは、ご家族など身近な方が治療薬の内容をよく理解した上で治療を継続し、生活習慣病も含めて適切に管理することで心不全の悪化を防ぐ一助になることをめざしています。

本サイトの特徴は以下の3点です。

- ① 実際の錠剤の写真が掲載されている
- ② 心不全に適応のある薬が色分けしてある
- ③ 患者にわかりやすい分類形式となっている

上記①は「ほら、あの赤い薬!」という高度な推測が必要な会話の際に、錠剤特定の手助けになります。②は同クラスに分類される薬剤の中にも、心不全に適応のある薬剤とない薬剤があることを知ることができます。③は「心不全の悪化を遅らせるお薬」や「むくみをとるお薬」など患者にとってわかりやすい分類を意識し、ともすれば効果が実感できないため怠薬されがちな心不全薬の服薬理由を明確に記しています。



機関誌 COCORO vol.2/vol.3 発行 #4

2022年9月27日に COCORO vol.2 (2022-2023 Autumn/Winter) が、2023年3月10日に COCORO vol.3 (2023 Spring) が発刊されました。

第2号の特集テーマは「秋冬を快適に過ごす心活術」。秋冬にかけて増える心臓や血管の病気を、快適に予防するためのコツをわかりやすく説明しています。続いて第3号は「この春、始めてみませんか? 『心活』ルーティーン-血圧編-」と題し、循環器疾患の本丸である高血圧に対して新たな切り口で挑みました。

創刊号で好評だった一般記事の多くは第2号からシリーズ化しました。たとえば「医療者が勧めるトラベルガイド」。創刊号では山形県鶴岡市が取り上げられましたが、第2号では広島(牡蠣!)、第3号では大分(温泉!)を紹介しました。また、創刊号の「心臓にやさしい居酒屋メニュー」は、第2号では「お鍋メニュー」に、第3号では「お弁当メニュー」に様変わり。「心不全療養指導士通信」では薬剤師と看護師、理学療法士と管理栄養士の活躍をご紹介。さらに第2号から新たに始めた取り組みとして、8つの委員会と、都道府県支部の活動報告を開始しました。第2号ではそれぞれ予防啓発委員会と徳島県/新潟県支部の取り組みを、第3号では患者連携委員会と熊本県/高知県支部の取り組みを紹介しております。

このように、機関誌 COCORO は患者さんにわかりやすい疾患情報を発信するだけでなく、日本循環器協会の活動そのものを見える化する重要なツールとして機能しています。今後も末永く会員や市民のみなさまに愛される冊子づくりを目指したいと思っております。

第2号



第3号



産官学連携定期会合（第1回2022年10月4日、第2回2023年2月13日）
#5

本会は4月に開催された「産官学連携臨床カンファレンス」に替わる賛助会員企業参加型イベントです。賛助会員企業1社が「幹事社」として企画段階から参画し、循環器医療産業界全体の利益になるようなテーマ/演者を選定し実施する、新たな試みとして開始しました。

第1回となる2022年10月4日は熊本大学 辻田賢一教授を演者としてお迎えし、坂田泰史教授（大阪大学）を座長、第一三共を幹事社という構成で熊本県における「脳卒中・心臓病など総合支援センターモデル事業」について討議を行いました。全国12施設のうちのひとつとして国から選ばれた熊本県のモデル事業について多くの学びが得られた会合となりました（合計参加者54名）。

第2回となる2023年2月13日はノバルティス社を幹事社として愛媛大学 山口修教授を演者としてお迎えし、「愛媛県における産官学連携について」というテーマで討議を行いました。循環器医師が自治体トップである愛媛県知事と直に言葉を交わすことが産官学連携のスタートアップにとっていかに重要なのかを知る貴重な機会となりました（合計参加者65名、うち自治体職員の参加者3名）。

図1；辻田教授の表紙スライド



図2；山口教授のスライド



（全スライドが[医療者限定ページ](#)でダウンロード可能）

「患者相談支援センター」サイトリリース（2022年10月21日）#6

患者連携委員会（弓野大 委員長）による新たな社会支援活動の一環として、2022年10月21日に「患者相談支援センター」サイトを開設しました。

これは、心臓の病気をもつ方やご家族が安心して暮らせる社会をめざし、心不全への豊富な経験と知識を持った多職種スタッフが、患者家族が抱えるあらゆる相談に応じるよろず相談所サイトです。患者さんがホームページにご自身の悩みを入力すると、相談スタッフへダイレクトにメッセージが届き、お助けアドバイスとなる返信メールが相談者に送信される仕組みです。

相談内容は、病気や検査、治療といった医学的な相談のほか、食事・家事・運動などの日常生活や緩和ケア、経済的な負担や支援、介護事業所に関する情報など多岐にわたります。このため、MSWを含む多職種が広く、そして緊密に連携をとりながら、患者や家族の相談に対応しています。

暮らす ▾
知る ▾
取り組み ▾
動画
機関誌
COCORO ▾
会員限定
ページ ▾
協会に
ついて ▾
入会を
ご希望の方へ

患者相談支援センター

心臓の病気をもつ方、ご家族が安心して暮らせる社会になるために。
心不全への豊富な経験と知識を持った多職種スタッフが、ご相談に応じます。

以下のような内容など、ご相談したいことがある場合は「[お問い合わせフォーム](#)」よりお気軽にご連絡ください。
お返事には数日いただくことがございます。

- 病気や検査、治療などについて
- セカンドオピニオンについて
- 日常生活について（食事・家事・運動など）
- 緩和ケアについて
- 経済的な負担や支援について
- お住まいの地域の医療機関や介護事業所に関する情報
- 気持ちのつらさについて
- どこに相談したら良いかわからないこと



※ご相談内容に応じて、医師（日本循環器学会認定循環器専門医）、看護師（慢性心不全看護認定看護師）、理学療法士（心臓リハビリテーション指導士）、作業療法士（心臓リハビリテーション指導士）、医療ソーシャルワーカーなどがお応えいたします。

会員向けホームページコンテンツの拡充 #7

入会者を対象に行ったアンケート調査をもとに、会員からのニーズが高い事業を中心にホームページコンテンツの拡充を行いました。具体的には下記のような時系列で新たなコンテンツをリリースしています。

- 12月26日 ①心不全療養指導士応援サイト「突撃！となりの心不全療養指導士」リリース
 ②「心臓の病気の知恵袋」サイトリリース
 ③「いまさら聞けない循環器診療の知恵袋（多職種編）」サイトリリース
 2月4日 ④「循環器ガイドライン試し読み」サイトリリース
 2月27日 ⑤初学者向けセミナー動画「心不全療養指導 はじめの一步」サイトリリース

① 心不全療養指導士応援サイト「[突撃！となりの心不全療養指導士](#)」

「となりの病院の理学療法士はどんな活動をしているの?」、「心不全療養指導士資格をどのように活かしているの?」といった疑問に、あなたのとなりの心不全療養指導士がお答えする、という形式の、心不全療養指導士を応援する企画です。初回は、心不全療養指導士の応援団長とも言える日循実務部会長の若林留美さんをお招きし、「心不全療養指導士とはなにか、どのようなことが期待されているか」について、講演してもらいました。これに引き続き、理学療法士や調剤薬局薬剤師における資格の具体的な活用方法についても紹介しています。



② 「[心臓の病気の知恵袋](#)」ページ

「健診で〇〇を指摘されたけど、どうすれば良いだろう」、「本当に受診が必要なの? 必要だとしたらなぜ?」といった一般会員の素朴な疑問に日本循環器協会のスタッフがわかりやすくお答えするウェブページです。月間 7000 view 以上の実績を残している、協会ホームページで一番訪問者が多いページになっています。



③ 「[いまさら聞けない循環器診療の知恵袋（多職種編）](#)」ページ

日常の臨床現場で疑問に思っているが今さら聞けないような、“あるある”相談を受け付けている医療者会員限定ページです。ほかの診療科の人達には細かすぎて伝わりにくいような内容でも、同じ循環器ではたらく仲間が見たらストレートに伝わります。そのような、循環器医療現場ならではの相談内容をみんなでシェアするページです。

④ 「[循環器ガイドライン試し読み](#)」ページ

「日循の循環器診療ガイドラインは難しい!」、「最低限必要な情報のみをまとめて欲しい!」という医療者の要望に答える医療者会員限定ページがこちらの「循環器ガイドライン試し読み」。メディカルレビュー社の全面的な協力のもと、同社が発行する「日常診療に活かす 診療ガイドライン UP-TO-DATE 2022-2023」を「試し読みサイト」という形で掲載しました。循環器領域 15 疾患の診療アルゴリズムが丸わかりで、しかも、とくに重要な5疾患(高血圧、心筋梗塞、心不全、心房細動、その他の不整脈)はフルバージョンです!年齢とともに忘れがちな診療指針もここで簡単にアップデート!



⑤ 初学者向けセミナー動画「[心不全療養指導 はじめの一步](#)」

「心不全療養指導 はじめの一步」シリーズでは、日本心不全学会が発行する心不全手帳(第3版)を教科書として、心不全に関する基本的な知識から療養指導の実際について、多職種からなる循環器エキスパートが解説します。心不全診療に携わるメディカルスタッフはもちろん、心不全に興味がある、これから勉強を始める方向けにセミナー動画形式で説明しています。あなたも今日から心不全療養指導のはじめの一步を一緒に踏み出してみませんか。



産産協議会（2022年1月18日） #8

2023年1月18日、賛助会員企業同士の交流の場として第1回産産協議会（多田荘一郎 WG 長）を開催しました。これは日本循環器協会（JCA）設立後1年半にしてはじめての対面式の交流会であり、JCA と賛助会員の双方が利益を得られる関係づくりを構築するための意見提言も兼ねた会合となりました。本会においては参加者全員が当事者意識をもって発言し双方向の議論ができるよう、少人数グループに分かれての Workshop 形式を取り入れました。約2時間にわたる討論の結果、合計14カテゴリー、108件の意見が集まり、盛況のうえで終了となりました。次回の会合では、今回得られた意見をどのように実行に移すかについて討議をする予定です。

【概要】

名称： 第1回産産協議会
 日時： 2023.1.18（水） 18時10分～20時15分
 会場： 東大病院入院棟 B 会議室 1,2,3
 参加者： 賛助会員 22社から 25名（発起人3名を含む）

アジェンダ：

1. 開会の挨拶 JCA 幹事； 原田睦生（東京大学）
2. JCA の目指す姿について JCA 代表理事；小室一成（東京大学）
3. 本会の目的について JCA 幹事； 原田睦生（東京大学）
4. 本日の進行方法について 進行役（発起人）；飛田信一（第一三共）
5. Workshop 開始（3グループに分かれて）
 - (ア) 議題1：「賛助会員として勧誘したいほかの企業について」
 - (イ) 議題2：「賛助会員としてのメリットを最大化するために JCA に期待するもの」
6. 総合討論 進行役（発起人）；多田荘一郎（GEヘルスケア）
7. 総括 JCA 代表理事； 小室一成（東京大学）



JCS2023 展示ブースの出展／「#学会でフットサル」 開催（3月10日） #9

総合企画委員会 学術集会イベント運営 WG（野出孝一 WG 長）では、JCA 認知度と好感度の向上を図ることを目的として、2023年3月10日（金）から3月12日（日）にかけて開催された JCS2023 福岡会場にて展示ブースの出展とフットサル大会の企画運営を行いました。

【展示ブース】

日本循環器協会の認知度向上と入会募集を目的にマリメッセ福岡 A 館の JCS 展示ブース脇に JCA 展示ブース（無料）を設置し、COCORO 無料サンプルの配布と来場者の写真撮影・Twitter 配信を行いました。

- a. 学会3日間で新規会員8名（医師5名、メディカルスタッフ3名）
- b. Twitter 用写真撮影：50名



【#学会でフットサル概要】

多職種・多施設・多業種間の交流を目的に、3月11日（土）20：00～22：00 ランブレッタベイサイドにおいてフットサル交流会「#学会でフットサル」を開催しました（WG リーダー：松川龍一、福岡赤十字病院）。参加人数 69名。

